

## 平成28年度学校評価

本年度の 重点目標	1. 学習指導の充実 2. 生徒指導の徹底 3. 進路指導の強化 4. 魅力ある教育活動の展開 5. 学習環境（施設・設備を含む）の改善		
目標（担当）	重点項目	具体的方策	評価結果と課題
1 学習指導の充実 (教務部)	①学校設定教科「基礎教養」の充実  ②授業規律の維持   ③授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の精選と教科担当の専門性を担保（教養数学の授業は数学科で担当）することにより、より一層の学習効果を図る。</li> <li>・授業態度報告書の活用、授業遅刻や中抜け生徒への入室許可証の発行により、授業に取り組む姿勢の醸成を図る。</li> <li>・生徒への授業アンケートに基づく授業評価自己点検表や授業参観報告書の提出により、自分の授業を見直し、授業改善を図る手がかりとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より1・2年生では就職試験に対応できる学力を養成するための数学の授業を実施した。学び直しから発展的な内容までを含み、基礎学力の向上に役だった。</li> <li>・授業への取り組みが改善され、落ち着いた雰囲気での授業を行うための一助となっている。</li> <li>・教員間で授業参観を行い、お互いの授業改善に役立てた。また、今年度から「稲高オープンスクール」を実施し、学校開放を行った。アンケートを通じて分かった問題点を今後の改善につなげたい。</li> </ul>
2 生徒指導の徹底 (生徒指導部)	①基本的な生活習慣の確立 ②規律ある生徒集団の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装規定に基づいた正しい制服の着用と身だしなみの定着を図るための指導を徹底する。</li> <li>・組織的な校門立ち番指導と早出指導の徹底に努め、遅刻をしない指導を行う。</li> <li>・挨拶の励行に努め、礼儀やマナーを重んじる姿勢を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準・規定の見直しを行い、身だしなみカードの活用による指導を本年度から実施した。全職員で指導に当たり、正しい身だしなみを定着させていきたい。</li> <li>・校門・昇降口での立ち番指導、遅刻防止週間の実施や早出指導を強化し、「時間を守る」意識の向上に努めた。遅刻数は昨年度比10.7%減少した。</li> <li>・全体指導では規範意識や帰属意識を高めるよう取り組んでいる。進路を見据えた学習活動ができる環境作りに学校全体で取り組む事が課題である。</li> </ul>
3 進路指導の強化 (進路指導部)	①進路実現に向けた個別指導の充実   ②学年団、保護者との連携を密にすることによるスムーズな進路実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者へは、社会情勢や採用状況等の情報提供を行い、早い段階での内定獲得を目指す。女子生徒への対応をきめ細かく行う。</li> <li>・進学希望者へは、進路研究部の活動と連携し、進路目的に合わせた学習指導等を行い、進路実現に向けて実力アップを図る。</li> <li>・事業所や大学等の情報を収集し、学年団、保護者、生徒へ進路に関する情報提供をいち早く行い、早期の進路実現を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次の就職試験での合格率は昨年度並みであったが、不合格であった生徒に対しては、担任と連携して早期の情報提供を行うことにより、早期の進路実現を達成することができた。</li> <li>・国公立大学への合格、公務員試験への合格等、進路研究部の活動と連携し、生徒の希望する進路を実現できた。進路研究部に属さない生徒の対応を考えると、今後は全校あげての指導体制の確立について検討を行っていきたい。</li> <li>・年度途中で進路希望を変更した生徒を除き、昨年以上に早期の進路実現を達成することができた。</li> </ul>

<p>4 魅力ある教育活動の展開 (1) 生徒会指導 (生徒会部)</p>	<p>①部活動の活性化  ②生徒会活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動への積極的な参加を促し、多くの1年生が部活動に定着できるように指導する。</li> <li>・外部講師の活用など、増加する女子のニーズに対応した活動を企画する。</li> <li>・自主的な生徒会活動ができるように委員会活動の指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部活動顧問の協力により、全般に活性化した。特にバレー部、バスケット部、卓球部、柔道部は、これまで以上に多くの対外試合に参加するなど目に見えて活性化してきた。</li> <li>・外部講師の指導で、特に詩舞道部の活動が非常に活発になった。</li> <li>・生徒会執行部を中心に、体育祭の新競技や稲高祭のステージ企画などを教員の手をほとんど借りずに自主的に準備・実行することができた。</li> </ul>
<p>4 魅力ある教育活動の展開 (2) 専門教育指導 (農場部)</p>	<p>①農業クラブ活動の充実  ②職業資格取得指導の充実  ③実習時の正しい身だしなみと安全な実験・実習の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会、東海大会、全国大会での上位入賞を目指す。</li> <li>・技術顕彰や職業資格取得の取得率向上を目指す。</li> <li>・実習にふさわしいきちんとした身だしなみで、安全に配慮した実験実習の展開を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会では平板測量競技会、意見発表会(分野Ⅲ類)で最優秀、農業鑑定競技会で優秀(区分:造園、生活)を獲得した。</li> <li>・意見発表会東海ブロック大会では入賞(優秀)することができた。</li> <li>・全国大会では農業鑑定競技会で3名が優秀(区分:園芸、造園、生活)を獲得した。</li> <li>・各種資格の取得率は、やや減少した。</li> <li>・正しい身だしなみで、安全な実験実習を実施することができた。</li> </ul>
<p>5 学習環境の改善(施設・設備を含む)、保健指導 (保健部)</p>	<p>①学べる環境作りを自らの手で行う  ②健康増進に向けての広報活動の充実  ③個別の支援を必要とするような生徒への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化週間等を通じて環境美化への意識向上を図る。</li> <li>・健康管理への意識を高める取り組みとして、広報活動を展開する。また引き続き、治療の受診督促を勧める。</li> <li>・担任・養護教諭・カウンセラー間の連携を追求し、入学前の状況もふまえ、個別に支援を必要とする生徒への対応について検討する。</li> </ul>	<p>清掃時間の状況は良好であるが、ゴミの状況を見るとコンビニ弁当のゴミやお菓子類もあり、健康上からは良好とは言えない食生活を送っている生徒も見受けられる。</p> <p>生徒保健委員による広報は定期的に発行することができた。受診勧告率は66.2%であり、現在治療中の生徒は16.5%である。</p> <p>今年度、学年主任者会が発足し、保健部と各学年間の情報共有が進んだ。その結果、効果的な対応ができた生徒もあり、引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>総合評価</p>	<p>1 学習指導 全体的には落ち着いた学習環境であるが、一部規律が確立していない授業もある。授業態度報告書の活用等を通して組織的に指導できる体制を整えていきたい。また、基礎教養の授業は、1・2年生については今年度より数学の授業としたので、基礎学力の向上につながった。</p> <p>2 生徒指導 身だしなみカードの導入など、継続した根気強い指導により、生徒の身だしなみは改善されてきている。立番指導の改善等により、遅刻者数は減少した。また、あいさつができる生徒が増えた。さらに、改善されるよう指導方法を検討していきたい。</p> <p>3 進路指導 国公立大学試験、公務員試験、就職試験すべてにおいて、前年度よりよい実績であり、個々の希望に合った進路実現を達成できた。来年度はさらに組織的に指導していきたい。</p> <p>4 特別活動 部活動は少しずつ活発になってきたが、地元の中学校の要望に応えるためにも、活性化のための方策を検討しなければならない。生徒会は、自主的に活動ができるようになり、生徒主体で行事が運営されつつある。</p> <p>5 専門教育 農業クラブ活動についてはそれぞれの分野でよく健闘したが、来年度さらなる成果が出るよう取り組みたい。資格取得の成果は今一歩であった。指導体制の見直しを図る必要がある。また、事故防止を常に意識し、安全な実験実習を行っていきたい。</p> <p>6 学習環境、清掃の取組状況は改善されてきている。今年度より実施した学年主任会により、情報共有ができるようになり、指導に役立った。</p>		